

「新感覚」に満ちた中学生生活

種子島中1年

牛越 元徳

中学1年の1学期はあつという間に終わった。僕にはさまざまな「新しい」があった。

まず新しい友達だ。僕が卒業した安城小学校は全校児童17人という小規模校。良さもあったが友達が少なく、話が盛り上がることは多くなかった。今は友達が増え学校に行きたい思いがさらに強くなり、毎日楽しい。

次に新しい授業だ。小

学校の同級生は3人で複式授業。挙手しなくても指名され、出る意見も少なかった。新しい気づきや発見を得ることが難しくなったように思う。

中学校は40人学級で、挙手しても必ず当たるとは限らない。たくさん人の意見に触れることができ、先生方も楽しく学びやすい授業をしてくださる。僕には「新感覚」なのだ。

夏休みは海に行ったり、ふるさとに帰ったり、普段できないことを予定している人も多いだろう。僕は郷里の富山に10日間ほど帰る予定だ。宿題を頑張り、部活動に励みながら、中学生の「新しい」夏休みを充実させたいと思う。(西之表市)